



モユク★カムイ 99

NO.

●モユク・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。 November 2018

ASAHIYAMA ZOO NEWS

あさひやまどうぶつえんニュース



もくじ

ほくは動物大使 その60
ネコじゃないよマヌルネコ.....1.2

特集 新かびら館・新フラミンゴ舎徹底解剖!.....3.4

飼育研究レポート
～シマフクロウの繁殖について～.....5

夏の思い出
～獣医実習生がやってきていました～.....6

新人紹介
～飼育員になり半年経ちました～.....6

主なできごと
編集後記・飼育動物数.....7

マヌルネコ
Felis manuru

表紙の絵: 児童画コンクール
金賞 松田 望夢さん

マヌルネコ

学名 *Felis manuru*
(*Otocolobus manul*)

英名 Pallas's Cat
分類 ネコ(食肉)目 ネコ科

モンゴルの言葉で「小型のヤマネコ」という意味。

シベリア南部から中国、イラン、アフガニスタン等の標高の高い草原や半砂漠に生息している。

生息地の気温は夏は高く、冬はマイナス50℃になることもあり変動が激しい。積雪はあまりない。

IUCNレッドリストでは準絶滅危惧種(NT)に分類されている。

マヌルネコの分布

濃い部分=生息範囲



マヌルネコがやってきたわけ…

マヌルネコが暮らしている小獣舎の部屋には、2017年までウンピョウの雌(プータオ)が暮らしていました。ウンピョウが死んでしまい空いている部屋をどうするかと考えました。まず、ウンピョウは国内飼育数が少なく、国外からの導入も難しい種でした。また、隣で飼育しているレッサーパンダも数が増えてきたので、レッサーの部屋にするという案もありましたが、せっかくなので他の動物種を飼育してはということで却下になりました。

そこで、以前本州の動物園で見たことがあるマヌルネコを飼育してみてもいいかと何人かの飼育係が言い出しました。マヌルネコの種別計画管理者であり、繁殖も順調な埼玉こども自然動物公園に問い合わせたところ、寒冷地の動物でもありぜひ旭山で飼育してもらえればということで、トントン拍子で話が済み、グルーシャがやってきたわけです。

ぼくは動物大使 その60

体 全長 50~65cm
尾長 21~31cm
体重 2.5~5.0kg

食べ物

野生ではネズミ類やナキウサギ、鳥類などの小型の動物。動物園では馬肉、ヒヨコなど。

目

イエネコ等とは違い、瞳孔は丸く収縮する。



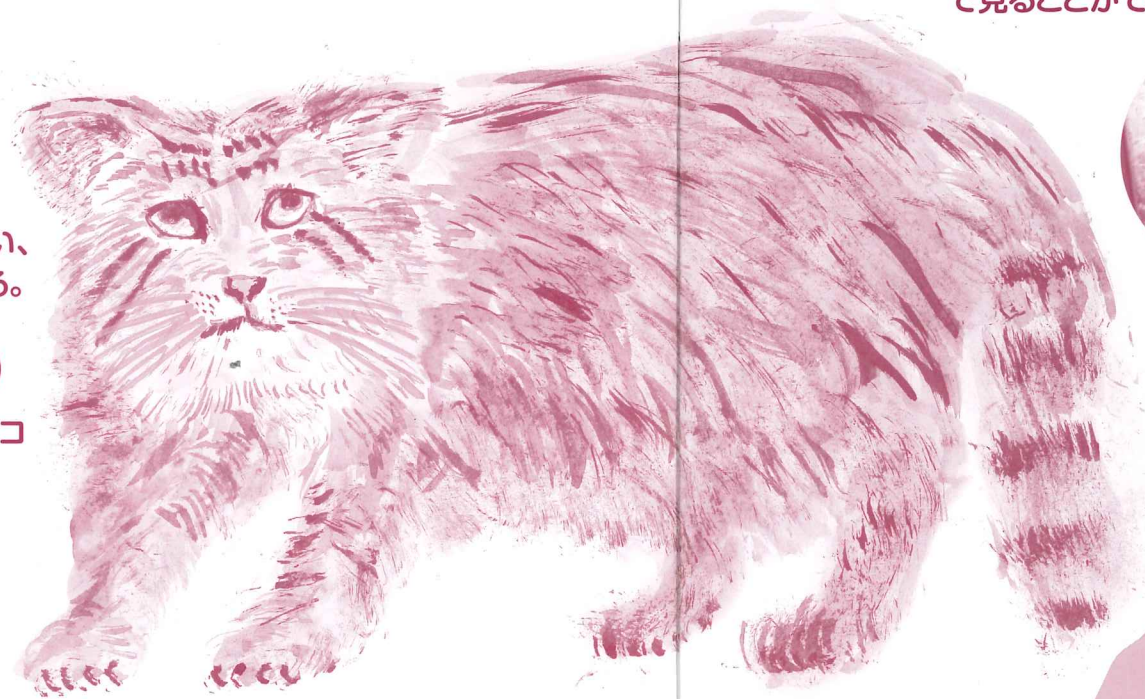
イエネコ マヌルネコ

繁殖

4月から5月にかけて1頭から5頭の子を産む。

毛

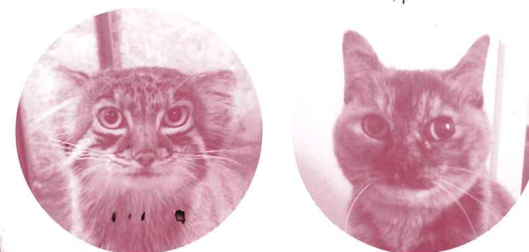
長く密生した毛によって、厳しい寒さや凍った地面から体を守ることができる。毛は橙色と灰色を混ぜたような色をしており、尾は黒い縞模様がある。頭部には黒斑があり、子どもはよりはっきりしている。



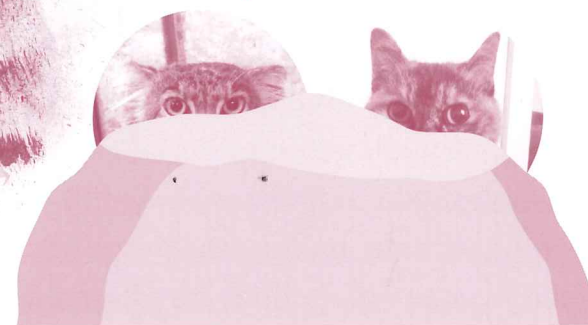
ネコじゃないよ マヌルネコ

耳の位置と狩り

イエネコに比べて耳が低い位置についている。さらに目が高い位置についている。狩りは走力はないので、忍び寄ってから飛びかかるスタイル。耳や目の位置のおかげで、岩陰から獲物を狙うときに頭を少し出すだけで見ることができると考えられている。



こっちの方が
見つかりにくい、かな?



だるまさんがころんだ?

獲物を狙う動きなのでしょう、旭山のグルーシャは餌を食べに行く時や、緊張したときに「だるまさんがころんだ」のような動きをします。少し動いては止まり。また動きといった様子です。野生でもこの動きで獲物に徐々に近づいて飛びかかっているはず。

これからに期待のグルーシャ

旭山にはじめてやってきたマヌルネコのグルーシャ。飼育担当者も、はじめて飼育する動物に期待と不安がありました。ウンピョウの部屋を一応マヌルネコ用に模様替えしたものの、どのような動きをするのかは想像するしかありませんでした。グルーシャは輸送箱から出ると、おそろおそろの寝室を探索し、さっそくマヌルネコ特有の動いては止まり、また動くという動きを見せました。約2週間程度で環境にも慣れ、外に出るようになりました。暑い夏は、涼しい屋内と出入り自由とじていましたが、秋になり完全な屋外デビューとなる予定です。これから冬になると、より長い冬毛になっていきます。

今まで本州でしか飼育されていなかったマヌルネコが北海道の冬でどのような姿になっていくか楽しみにしててください!!

北海道初飼育の マヌルネコ

マヌルネコは国内6つの動物園で14頭が飼育されています。

- 旭山以外では
- ・埼玉こども自然動物公園
 - ・那須どうぶつ王国
 - ・上野動物園
 - ・東山動物園
 - ・王子動物園

で飼育されています。

そのうち2017年には埼玉でのみ出産・成育しています。

旭山にやってきたグルーシャはその2017年に繁殖した5頭のうち1頭です。

日本では1983年に東山と上野動物園で飼育されたのがはじまりで、旭山を含めて北海道の動物園で飼育されたことはありません。今回の旭山でのマヌルネコの飼育が北海道全体でも初ということになります。

ちなみに、グルーシャという名前はロシア語で「洋なしの花」という意味で、グルーシャの兄弟はみんな花の名前がついているそうです。

特集 新かぴばら館 徹底解剖!

新フラミンゴ舎

2018年春から工事が進められていた「かぴばら館の屋内施設増築工事」、「新フラミンゴ舎」がいよいよ完成しました。

「かぴばら館の屋内施設」は、冬でもカピバラが観察できるようになりました。「新フラミンゴ舎」は、全体に網をかけ、飛ぶ姿やフラミンゴの繁殖を目指す施設に生まれ変わります。「新フラミンゴ舎」については、来年の春オープンとなります。今回は、この二つの施設を細かいところまで紹介していきます。

新かぴばら館 屋内施設

カピバラの屋内放飼場

大きくはありませんが、ガラス張りの放飼場ができ、間近でカピバラを観察できるようになりました。

地面は擬岩にし、自然に近い感じの地面にしました。

カピバラが屋内にいない場合は、看板を設置してありますので、カピバラを少し学んで、外にいるカピバラを観察してもらえればと思います。



銅板の外壁が目印

かぴばら館の屋内入口は、この外壁が目印です。東門への階段を目指すと、この外壁が見えてきます。

東門から階段を降りると、すぐに右の写真のように見えてきます。

年数が経つと10円玉みたいに色が変わります。



カピバラの足跡

カピバラの足跡が入口を案内してくれています。旭山動物園の中では、初めての案内板となります。



入口に2カ所の足跡があるよ!

立ち入り禁止看板

あべ弘士さんが、このために描き下ろしたカピバラがたたずんでおり、立ち入り禁止を教えてください。



新フラミンゴ舎

網がかかった天井

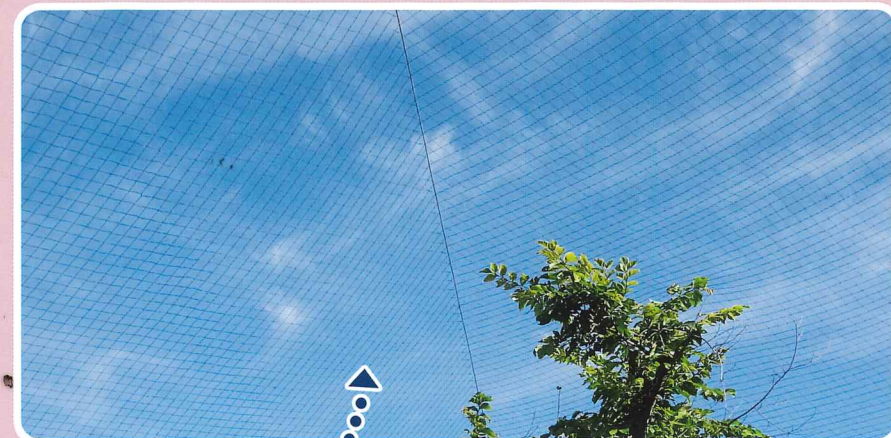
高い所で高さ8.9m、低い所で高さ7mのフライングケージとなります。ととりの村よりは低いですが、施設全体を網で覆いました。

ちなみに左の写真のようにフラミンゴ舎とととりの村は別々の網で覆われています。

ととりの村

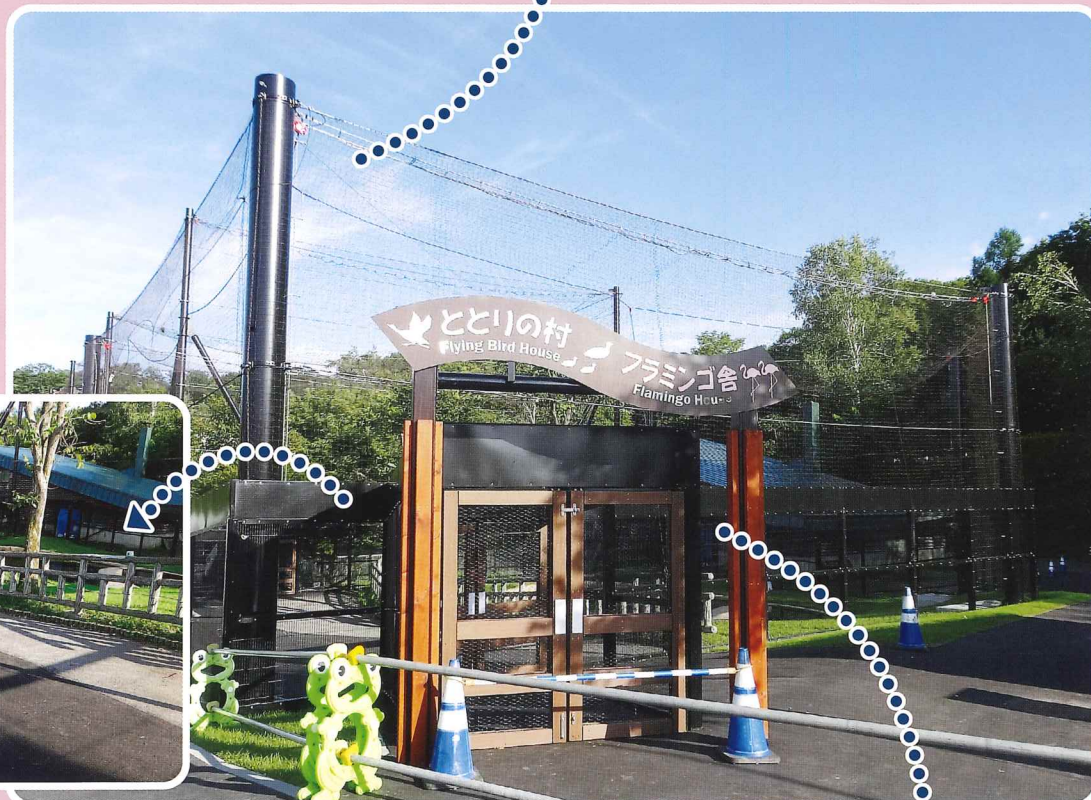


フラミンゴ舎



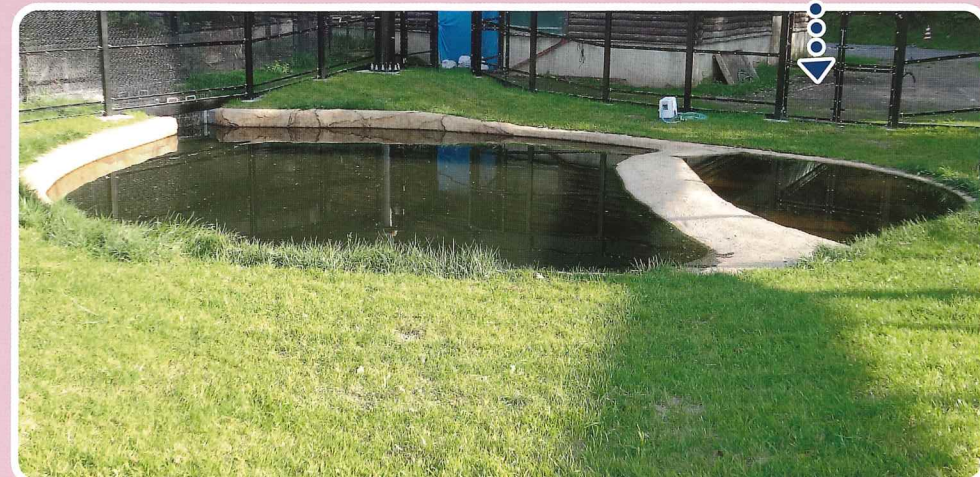
広い観覧スペース

ベンチに座りながらゆっくりフラミンゴを観察できるかも…。



池の改修と泥場

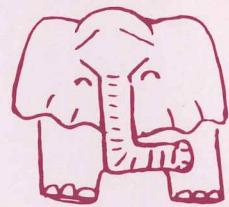
放飼場の広さは変わりませんが、芝などきれいにしました。そして、普段休んだりエサを食べたりする池の改修と、泥場を作りました。泥場では、巣を作り、繁殖を目指すようにしました。繁殖に成功すれば、巣でフラミンゴのヒナが見られるかも…。





飼育研究レポート

～シマフクロウの繁殖について～



シマフクロウは日本では北海道にのみ生息する大型のフクロウです。道東を中心に生息しています。現在の生息数は165羽といわれており、絶滅危惧種であり、天然記念物となっています。

動物園での飼育は当初は釧路市動物園のみでしたが、2012年に分散飼育を行うこととなり、円山動物園と本園でも新たに飼育を始めました。当初はシマフクロウの飼育技術を身につけるため、メス1羽での飼育から開始しました。そして、2016年の3月に繁殖を試みるため新たなペアを釧路市動物園から導入しました。

当園にやってきた新たなペアは、オスの「ロロ」19才の動物園生まれの個体と、メスの「モコ」5才の保護個体(右目がない)でした。この2羽は当園に来る前年10月から釧路市動物園で一緒に飼育され始めましたが、来園した時はまだペア形成はされていませんでした。

飼育1年目はこの2羽がうまくペアリングするかどうか最も重要で、注意深く観察していました。シマフクロウのペア形成を判断するためには、ある儀式に注目します。それが「鳴き交わり」です。鳴き交わり方はオスがまず「ポーポー」とないて、それにメスが「ホー」と返す方法で、ペア形成がうまくいっているとオスが鳴いた後間髪入れずメスが返すという感じになります。今回のペアは秋頃から鳴き交わりが頻繁にきかれるようになり、ペア形成がうまくいったのだと判断しま



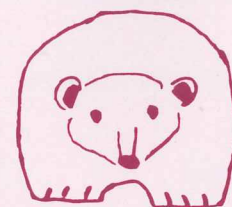
親子4羽

した。その後、飼育場内の巣にメスが執着する様になり、本格的な繁殖期を迎えました。シマフクロウは2月に交尾をして、3月に産卵します。そこで観察していたところ、順調に交尾と産卵が観察され、ペア形成1年目でヒナ誕生かと期待しましたが、残念ながら失敗に終わりました。産んだ卵は無精卵だったのです。でも、次の繁殖期に期待が持てる結果ではあったので気を取り直し、2年目が始まりました。といっても、やることは前年とほとんど変わりません。基本的には観察です。2年目は鳴き交わりも4月から行われペアの関係は良好でした。そして2度目の繁殖期が始まると交尾シーンもカメラで記録でき、3月初旬には順調に2卵産卵しました。メスはその卵を約35日間温め、ついにヒナが誕生しました。子育てにはオスもエサを捕って運ぶという形で協力し、ヒナは順調に成長していきました。ヒナたちは生後38日ぐらいから巣の入口から外を見る様になり、約53日目に巣立ちしました。フクロウのヒナは巣立ち直後は飛べないため、当初よちよち歩きなどコミカルな姿が観察されましたが、7日もすると飛べる様になりました。現在はほとんど親と見分けのつかない姿に成長していますがまだまだ仕草には子供っぽさが残っています。12月には親離れを迎えます。あと少しの期間の親子を見に来てくれると嬉しいです。

(フクロウ担当 獣医師 池谷優子)

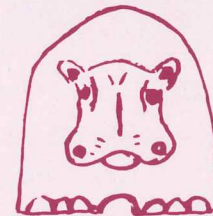


巣立ち後のヒナ



夏の思い出

～獣医実習生がやってきていました～



今まであまり情報を出すことがありませんでしたが、旭山動物園には毎年夏に全国の獣医学部(科)の大学生が実習にやってきます。今年も8月7日から20日の2週間の日程で2名の実習生を受け入れていました。

獣医実習といっても、普段はあまり診療がない(もちろん診療がないことはいいことですよ!暇だとか言わないで下さいね)ので実習生に合わせたプログラムを行います。最初はタヌキの保定(捕まえて、危なくないように持つこと)からはじまります。犬学では犬や猫を使った実習はありますが、タヌキを触るのも初めての2人は悪戦苦闘して捕まえていました。捕まえるなんてかわいそうと思うかもしれませんが、人も動物も安全な保定は動物の移動や診察には欠かすことのできない技術です。その他にも、麻酔のための吹き矢づくりや、鳥の採血、猛獣の健康診断のための麻酔などを行いました。

2週間という期間では動物園での獣医技術をすべて学ぶことはできませんが、動物園動物を扱う上での考え方や工夫、動物園の意義などを学んでもらいたいと思います。これも動物園4つの使命のうちの一つ教育活動の一環ですね。



保定したタヌキに鎮静をかけて、採血等の実習

※旭山では獣医学部生の5・6年生を対象としています。特にHP等で募集はしていないので、希望者は来年の春頃に電話して下さいね。

新人紹介 ～飼育員になり半年経ちました～



鈴木 達也(オス)

担当動物：アザラシ・両生八虫類・飼料

好きな動物：アライグマ・オカピ・シーラカンス

好きな食べ物：駄菓子・コーラ・そば

子どもの頃の夢：飼育員

今はまっていること：切り絵

自己紹介&意気込み

幼い頃からの夢であった飼育員になれて、とっても幸せです。将来的にはみんなが「アザラシがいる」ではなく「ゴマフアザラシがいる!」と言ってもらえるくらいに動物に興味を持ってもらえるよう頑張ります!よろしくお願いします。



鎌上 壘(オス)

担当動物：とどりの村・こども牧場

好きな動物：ネコ・猛禽類

好きな食べ物：米

子どもの頃の夢：ミュージシャン

今はまっていること：手ぬぐい収集

自己紹介&意気込み

とどりの村・こども牧場・教育活動を担当しています。前職は生活保護課のケースワーカーをしていました。優しい先輩方に助けられ、毎日楽しく過ごしています。今は知識を増やすことで精一杯ですが、早く自分なりの展示やガイドができるよう精進します。よろしくお願いします。

主なできごと

- 6月 7日 イワトビペンギン孵化
 8日 エゾシカ「ペペ子」出産
 9日 アライグマ死亡
 11日 シンリンオオカミ「アオイ(メス)」名古屋市東山動物園より来園
 13日 チンパンジー「ニコル(メス)」死亡
 23日 障がい者夜間特別開園を開催
 7月 1日 開園記念日
 11日 レッサーパンダ「^{ゆーゆー}渝渝」出産(2頭)
 19日 マヌルネコ「グルーシャ(オス)」埼玉こども動物自然公園より来園
 20日 トナカイ「和香(メス)」死亡
 24日 株式会社橋本川島コーポレーション様より氷のプレゼント
 26～28日 富良野自然塾と国立大雪青少年交流の家との連携イベント「46億年地球の命～ぼくらはみんなできている～」を開催
 28日 株式会社キョクイチロジ様より氷のプレゼント
 30日 キングペンギン孵化

- 8月1日～ ボルネオへの恩返し企画展「パーム油ってなんだ??」を開催
 1～3日 第43回サマースクールを開催
 5日 自然観察会「環境学習バスツアー(ウチダザリガニ防除体験)」を開催
 7日 ライオン「オリト(オス)」桐生が岡動物園より来園



- 10～16日 夜の動物園を開催
 11日 ボルネオへの恩返しイベント「わたしたちのくらしとパーム」を開催
 19日 自然観察会「虫ってすごいな!あなたは虫に勝てるかな?」を開催

地震と停電、その時動物園は?

9月6日、旭山動物園のある旭川市でも震度4を観測しました。旭川は災害の少ない街ですので、大きな揺れに驚いた方も多いと思います。そしてこの地震直後から全道的な停電となりました。旭山動物園では早朝から職員が動物園に駆けつけ、園内をチェックするとともに停電の対策として、発電機を準備し、優先度の高い動物病院やエアの必要な魚類などの電気を確保する作業に追われました。開園時間が近づいても、電気が復旧する目処もなく、市内は停電により信号機も作動していない状況でしたのでこの日は臨時閉園となりました。動物達かというと、電動扉や電気柵を設置してある動物舎は外に出してあげることが出来ませんでした。お客さんが居ない以外は概ねいつもと変わらぬ様子でした。



地震後の園内はしばらく落ちついた様子だった

編集後記

モユクカムイも今号で99号、ということで次号はいよいよ記念すべき100号となります。100号は特別号としてこれまでのモユクカムイとは少し違った様々な企画を考えています。是非お楽しみに!

(大内)

最新情報はここでチェック!!



公式HP Facebook Twitter Instagram

モユク・カムイ No.99 平成30年11月1日

- 発行所/旭川市旭山動物園
〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
- 発行人/坂東 元 ●表紙絵:児童画コンクール 金賞 松田 望夢さん
- 編集/丸 一喜・高橋 伸広・大内 章広・鈴木 悠太・中村 亮平
佐賀 真一・中田 真一
- 印刷/株須田製版:〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 ☎0166-62-2266

飼育動物数

平成30年10月1日現在

- 哺乳類 44種・299点
- 鳥類 58種・331点
- は虫類 5種・17点
- 合計 107種・647点